



題字 慎 獨 揮毫 東予周桑教育会OB 石丸 敏信 解説は3面



発行所 (公財)愛媛県教育会 790-8545 松山市祝谷町1丁目5-33 エスポワール愛媛文教会館内 電話 (089)945-8644 FAX (089)945-1459 E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

- (2) 学校紹介 脇川小学校
(3) 地区教育会より今治越智
(4) 特集 本とわたし
(5) 九十九歳・八十歳慶祝者
(6) 東北ボランティア
(7) つながることにつづけること
(8) ふるさとスケッチ

声をあげ、行動しよう
暴力のない社会をめざして



元愛媛県教育研究協議会副会長 寺坂 史子

「赤毛のアン」に夢中になつていた少女の頃を思い出しながら、毎朝楽しみに「花子とアン」を見ている。今日の子どもの豊かな読書環境や女性の社会進出は、村岡花子さんを始め働く女性として、生き抜いた先人の努力があったからだと改めて思われる。

の三人に一人が配偶者からのDVを経験し、恋人間の暴力も少なくない。

以前、十代の子どものための意識を知るために、アンケート調査をした。「自分を好き」という自己肯定感のある子どもは、「学校が楽しい」「家族とよく話す」「ノーとはつきりいえる」ことがわかった。

家族に愛されて、自分を大切に思う心を育てることが、DVやデートDVの予防につながることを痛感した。

「DV」「デートDV」という言葉の認知度は、高校生においてもかなり高かった。アンケートでは、「デートDV」の被害を受けた高校生もいた。少数ではあるが、身近な地域でも現実の問題であり、

愛媛県でも高校生を対象にしたDV防止教育に、積極的に取り組んでいることも知ってほしい。
何の予備知識もなく飛び込んだ婦人相談所の活動だが、相談力向上のための研修会等への参加を通して、自身の認識を少しずつ高めることができた。中でも、竹信三恵子さん(男女共同参画会議委員)を、お招きした研修会で「変わらないと思つて何もしないより、少しでも行動しよう。声を上げていこう」と力説されたことは忘れられない。
私も、DV防止にかかわる者として、積極的に啓発活動のために、声をあげ、少しでも行動をしたい。そして、家庭や社会から暴力をなくし、誰もが安心して暮らせる社会を築いていきたい。

- 一略 歴一 (てらさか・ふみこ)
昭和39年 東京女子体育短期大学 卒業
平成8年 教育センター教諭
平成10年 松山市立荏原小学校校長
平成14年 愛媛県教育研究協議会 副会長
平成16年3月 定年退職(松山市立新玉小学校長)
平成25年 愛媛女性保護対策協議会 事務局長
平成26年 愛媛県退職公務員連盟 副会長

聞 びょう 響

教育再生実行会議では「人づくりは、国づくり」を標榜してこの一年半ほどの間に五つの提言を行い、スピード感あふれる改革が進んでいる。一方、OECD調査によると、日本の中学校教員の勤務時間は三十三の国・地域の中で最長だという報道がされた。また、平成十八年の文科省調査でも小中学校教員は月平均三十四時間の残業(持ち帰り業務は含まない)で昭和四十四一年調査の四倍以上の結果であった。現場の教職員からは、学力向上に向けた授業時間増や部活動指導、様々な事務処理など「多忙感」を訴える声を聞く。この多忙感を解消し、今以上に子どもたちと向き合い、授業準備などが十分にできる時間を確保する方策を講じることも重要だと思ふ。夏の日連教研究大会で、文科省では、予算要求のための標準法の改定を検討しているとの情報提供があったが、加配定数を確保するとともに基本定数を増員し、教職員がゆつたりと子どもたちとかわり、質の高い教育活動ができる仕組みづくりを切望する。

ひとこと

必 笑



愛媛県小中学校長会
副会長
松木 謙司

夏の甲子園で展開される熱戦に魅せられた私の心を躍らせるドラマが、皆さんも御承知の星稜高校が演じた大逆転劇でした。皆さんの中にも感動された方も多いのではないかと思います。

私は子どもの頃から巨人ファンでした。というより、「長嶋茂雄」の大ファンで、昭和四十九年十月十四日の引退試合の放送では、涙を流しながら観た一人でした。「長嶋茂雄」は天才と言われ、数々のドラマを演じてきました。が、どんなときにもプレーが終わった後は「笑顔」だったことがすごく印象に残っています。プレーもさることながら、あの「笑顔」が好きで、星稜高校の選手たちもあの

苦境の中でも、常に「笑顔」

を絶やさず、全力でプレーして

いました。八対〇の九回裏からの大逆転劇でした。仲間

を信じ、励まし合い、支え合うときに、この「笑顔」のも

つ力は絶大であることや、どんな困難な状況でも今を前向きにとらえている証の「笑

顔」は、絶対に諦めない粘り強さを彼らの中に育てていた

のです。そんな強い精神力を育て上げた星稜高校の林監督

という人物に、とても興味がわいてきました。教師が子ども

たちの前に立ったときの「笑顔」の効用は絶大である

からこそ、教師は子どもたちを「笑顔」にさせることで、

能力以上のものを引き出すことができると思います。

甲子園では、我が郷土の代表小松高校も大健闘しました。

星稜高校も三回戦で八戸学院光星高校に惜しくも逆転

負けしました。筋書きのないドラマである高校野球には

まっている教員OBの先輩の気持ちがよくわかるようになって

りました。

(今治市立日吉中学校長)

学 校 紹 介

No.152

大洲市立肱川小学校

災 害 に 備 え て

平成二十六年四月一日、大洲市肱川町内四つの学校が統合して、児童数八十九名（現在は、九十名）の大洲市立肱川小学校が誕生しました。合わせて、各校区にあった四つの幼稚園も統合、肱川幼稚園となりました。敷地、校舎（園舎）は、旧中野小学校・幼稚園のものを使っていますが、小学校では校名とともに校章、校旗も一新し、新鮮な気持ちでスタートを切っております。

送を聞いた児童（園児）が、続々と体育館にやってきました。職員は、児童（園児）の確認をして地区ごとに並ばせると、事前に行っていた引き渡し作業のシミュレーション通り、引き取りに來られた方の確認、引き渡しカードの確認等、マニュアルに従ってきばきと作業を進めていきました。

そんな統合間もない六月十五日（日）の参観日に、幼小合同で第二回の避難訓練に合わせ、児童（園児）の引き渡し訓練を行いました。災害は、いつ起こるか分かりません。統合したばかりで校内や学校周辺の様子がよく分かっていない児童（園児）・保護者が多く、とにかく早い時期の避難訓練・引き渡し訓練が大切だとの考えからでした。



午後、保護者には九十分間の救命救急法講習を受けただけで、終了後、いよいよ引き渡し訓練の開始です。避難訓練の放

(教頭 竹本 親由)

題字に寄せて

慎獨(ひとりっしむ)



東予周桑教育会OB 石丸 敏信

「慎獨」は近藤篤山の「三戒(立志・求己・慎獨)」の中にある教えである。

篤山先生は「慎」の一文字は吾が性の近きところと一言せられ、他人の見ると思わぬ言動に、常に謹厳にして恰も春風の中に座するが如きであったという。「慎獨」は「獨り慎む」と書く。いつも謙虚で慎み深さを自ら忘れない生き方、現代の人々が忘れてはならない教えではないだろうか。

小松藩の儒学者で教育者であり、学問を究め、優れた人柄から多くの人々に慕われた伊豫聖人・近藤篤山(一七六六〜一八四六)の遺訓である。

会教育区 だより

今治 越智教育会

今治・越智教育会だより



今治市日吉小校長 藤田 晋司

今治・越智教育会は現職・OB・賛助会員あわせて一、五五〇名で構成され、中学校区を基本に現在十四グループに分かれて活動しています。

平成の大合併から十年目を迎え、従来の活動を見直し、改善を加えながら平成二十六年度がスタートしました。主な行事を紹介します。

〈定期総会・研修会〉

五月、定期総会を行った後、丸亀市防災アドバイザーの鳥生幹雄先生を講師に迎えて、「災害に備えよう」という演題で講演いただいた。

〈花づくり活動〉

五月下旬、今治小学校を会場に、和田清身・飯野政俊先生からサルビアなどの草花づくり、菊づくりについてご指導いただいた。



花づくり活動

〈囲碁大会〉

手塚尚文・清水俊治先生のお世話により七月に開催。十二名の参加者が二グループに分かれ熱戦を展開した。

〈課題学習補助活動〉

七月、現職会員が読書感想文の書き方、理科・社会科研究のこつを説明した後、OB会員が今治中央・波方・大西・大三島の各図書館で見守り、生徒、保護者の希望に応じて個別指導を行った。

他にも十一月には姫路方面への研修旅行を、十二月には教育懇談会を予定しています。

様々な行事を通して現職とOBが一体となり、出合いや交流、心のつながり・絆を深め、楽しく愛される教育会を目指しています。

ローカルピククス

知清公園と歌碑

三七九号線沿いで、旧内子町中心地。交通の便もよく、清流の小田川河川敷があり、夏休み中は、連日キャンプで賑わい、魚釣り・水泳・水遊び等で親子・友人との絆を深める場ともなっている。

八・九月は恒例となっている相撲大会。昭和二十年代までは近郷近在の青年相撲大会があり、大相撲巡業もあつたが衰退した。今は、三百有余年の歴史の継承を願い、町内小学生が参加し守っている。春は桜。初夏はアジサイ。秋は紅葉、ウォーキング。「豊かな自然、山並、村並、町並」がキャッチフレーズの「エコロジータウン内子」である。ノーベル賞作家大江健三郎氏の兄昭太郎氏の歌碑(川づつみ 桜は老いて 花満てり 倒影の樹々 水にかがやく)が公園内に建立されている。氏は、県下の短歌指導に四十余年貢献。文学の里「大瀬」。



大江氏兄弟の生家へは約十キロ。一度来訪されませんか。

文教月報編集協力委員 小野植元 幸

教職員共済生協の 終身共済なら、【月払型】

月掛金 21,600円 (35歳・女性の場合の掛金です)

死亡・高度障害保障 1000万円! 60歳時の解約金 約679万円

* 掛金のお支払いは60歳まで。掛金はご契約時のまま変わりません。

万一の保障と退職後の生活資金の両方が準備できる共済です!

資料請求は電話またはインターネットにて、お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所

〒790-8545 松山市祝谷町 1-5-33 17本ワル愛媛文教会館 3F TEL 089-998-2141 http://www.kyousyokuin.or.jp/

特集 本とわたし

読書の広場



新居浜教育会
OB
長野美和子

新居浜教育会のボランティア活動「土曜寺子屋」に、この四月から「読書の広場」という講座を開いてもらった。これという特技もないが、もともと本は好きで、それならば読書離れが進む中、子どもたちが本に触れる機会の一つにでもなればと考え、やはり読書が大好きなパートナーと二人で取り組んでいる。講座は毎月第一土曜日、二時間ほどの短い時間だが、新居浜市立別子銅山記念図書館の協力を得て、子どもたちが読みたい本や子どもたちに読んでもらいたい本などを取りそろえ、また読み聞かせや本の帯づくりなども取り入れ、幅広く読書を楽しみ本の世界

に浸れる、そういう時間にしてほしいと思っている。

始めてまだ間はないが、活動する中で気づいたことがいくつかある。電子図書なども広く普及しているが、実際にページをめくりながら本を読み進める楽しみは別格であること、それを楽しみにしている子どもたちがたくさんいること、質の高い児童書や児童向けの図書がたくさんあり、それは大人の読書にも十分相応しいものであること等々。本が好きと言いながら、長文を読むのがだんだん億劫になりつつある自分にとって、改めて読書の楽しさを思い出させてくれる時間ともなっている。折しも朝ドラの村岡花子さんは言っている。「想像の翼を広げて…」想像の翼を広げながら、本の世界で自由に羽ばたく、そんな読書の広場を目指したい。

カワセミ号(市移動図書館)のおかげで



西条市西条小
教頭
久門 宣

「本は買って読め、家は借りて住め」私はこの言葉は、山本有三の『真実一路』の中の言葉と三十年余り思い続けていました。

この言葉を言い訳にしながら、図書館へはほとんど行かない。利用カードも持たない、借り方もよくはわからない。でも本屋で買うわけでもない。あまり読書をしない人を送っていました。

転機が訪れたのは、禎瑞小学校に赴任してからです。隔週の木曜日の昼休みに学校まで来てくれる、市の移動図書館「カワセミ号」の担当のようにならないうに自分で思い込み、「カワセミ号」の到着を知らせる音楽とともに、「カワセミ号」の所へ行くようになりまし。はじめは数人の児童が本を借りるのを見ていました。

本を選ぶ児童の顔は宝物を探すように生き生きとしており、それを見ているのはとても心地よいものでした。数回目はカードを作った、そのうちに二週間に二冊、本を借りる生活となりました。時間がなくて、読まずに返すことも度々ですが、読書のおもしろさにも気付きました。老眼鏡が必要になりました。

「本は買って読め、家は借りて住め」は灰谷健次郎さんの「太陽の子」の中の一文だそうです。「真実一路」「太陽の子」近いうちに図書館で借りて、もう一度読んでみようかなと思っています。

残照



松山市教育会
OB
高橋 猛

私の元に、一冊の本が届いた。かつて新採で赴任した時のM教頭先生の自書本であった。書名は『残照Ⅱ』。それ

は、三年前の初版に続くものであった。

残照とは、夕日が沈んでからもなお、山頂や空の一部に残っている光のことである。書き上げるのに五年を費やしたそう。この本へ寄せる思いを大切に、決意を崩さず、焦らず気負わず貫かれた姿勢。正にM先生らしい生き方である。

私の新採年最後の授業研究で、指導の甘さを指摘され、「もう一度四月からやり直したらどうか。」の助言は、M先生の優しさと厳しさに満ちて今も記憶に残っている。先日、M先生の訃報を耳にした。当時の先輩方と急ぎ自宅にお邪魔をさせていただいた。

優しく微笑むM先生の遺影の前で、しばらく四十年ほど前の思い出を語り合った。奥様から、つい最近まで『残照Ⅲ』の執筆に向けて資料収集をされていたことをお聞きした。「……文集作りを私の生活の軸と考えて……老人にとって自分の実践すること、自分の意志で見つけることは

極めて大切なこと……」『残照Ⅱ』に記された言葉と重なり、M先生の老いても若々しい少年のような輝きと熱い志を感じた。

『残照Ⅲ』は、どのような内容になっていただろうか。

『残照』に書き残されたM先生の言葉は、厳しさとそれを超える慈愛に満ちた、教師として人間としての生き様である。また、老後の生き方を示すものだ。『残照』との出会いは、M教頭先生との出会いそのものである。

辞書での

トラバース



伊予教育会 OB
徳本 貞文

誠に唐突で恐縮であるが、現在の日銀総裁・黒田東彦氏

祝 受章・受賞おめでとうござります

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

島津 通幸様 88歳 元上浮穴郡小田町立小田中学校長 内子町

◇視聴覚教育・情報教育功労者表彰

畑中 靖祥様 61歳 元伊予市立双海中学校長 松山市

の「東彦」を、どう読まれるだろうか。正解は「はるひこ」。

『名乗辞典』には、「東」の名乗り訓として、「はる」の他に「こち・ひで・あずま・はじめ」などが示されていた。では「東」に、なぜ「はる」という読みがあるのか。『漢和辞典』で調べる。中国古代の『五行説』についてのコラムに、答えがあった。「五行」とは、万物の元素である「木火土金水」の五要素をいい、あらゆる現象を五つに整理して、この五行のいずれかに当てはめて説明しようとするものである。方角の「東」や季節の「春」は、五行の「木」に配当されている。同じ「木」にあてがわれているため、互訓として、「東」には「はる」が、「春」には「あずま」が生じてきたようである。併せて、「馬耳東風」の「東風」は、「春風」だということにも気付かされる。

続いて「東彦」の「彦」について、『古語辞典』で関連語を探していくと、「ひこ」「ひめ」「をとこ」「をとめ」「むすこ」「むすめ」など、一連の対義語に行き着く。語末の「こ」は「男子」を、「め」は「女子」を意味するという。そして、『君が代』の歌詞の一節、「こけのむすまで」の「むす」と、この「こ」や「め」が結び付くと、「むすこ」と「むすめ」ができる。目から鱗である。

最近の読書から



宇和海市和島教頭
片山 公善

今年の今頃、同級生の営業マンから「百田尚樹の『永遠の0』は絶対に読むべきだ」との話があり、読んでみました。主人公・宮部久蔵の生き

方はさることながら、日本が敗戦へ向かった経緯、空のエースだった零式戦闘機が特攻隊の道具になってしまったことなど、大変感動し、二回続けて一気に読んでしまいました。映画も観りましたが、原作ほどの感動はありませんでした。同級生と意気投合し、お互いに本を紹介し合いながら、百田の本を八冊ほど読みました。おすすめは、「影法師」です。

今年の夏は朝日新聞に漱石の「こころ」が連載されていたのがきっかけで、読んでみました。高校時代以来です。「先生の遺書」は、高校生にとっても私たち世代にとっても深く考えさせられるものでした。たまには、不朽の名作に触れてみるのもいいものだと感じました。

幼少期から体を動かすことばかりで、ほとんど本を読まなかった私ですが、ここ数年は、本に親しむ時間をもつようになり心がけています。（体が動かなくなりましたこともひとつの要因だとは思いますが。）読書をするときの私のポイ

ントは二つあります。一つは、自宅でテレビをつけっぱなしにしないこと、もう一つは、本を読むときはきちんと座って読むことです。お陰で読書の楽しさが少しは味わえるようになりました。



俳画・水墨画教室
佐野 妙子作

愛媛マラソン
2015.2.8開催

参加される教職員の方にTシャツを進呈しています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

共済
(提携保険事業)

奨学 教育文化 福祉 研究助成

公益財団法人 **日本教育公務員弘済会愛媛支部**
〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

平成二十六年 九十九歳・八十歳慶祝者

傘寿おめでとうございます。記念品と御祝詞をお贈りしました。ますますの御健康と御多幸をお祈りいたします。

《九十九歳慶祝者》

該当がありませんでした。

東予周桑教育会 (一四名)

青木タクヨ様 野口ハツミ様

《八十歳慶祝者》(一七六名)

四国中央教育会 (一二名)

渡邊美代子様 福田香代子様

石川 賢弘様 近藤 晋様

近藤 眞一様 篠原 文男様

安藤サト子様 久門 蕃様

深川 久子様 藤田都美子様

岡本圭二郎様 石川 泰子様

新居浜教育会 (一七名)

岡田 怜一様 近藤 治子様

青野 弘子様 望月 森生様

伊藤 娥見様 稲垣 俣子様

西原マツ子様 真鍋 篤正様

近藤 淑子様 鈴木 洋一様

高内 珠彌様 島本八恵子様

森賀 美子様 藤原 順子様

宮崎 弘様 池田三樹子様

大西傳一郎様

西条教育会 (一〇名)

宮崎 昭彦様 宮崎 幸子様

一色 恵子様 薦田 信義様

富永 経子様 安永 幾雄様

國田 忠充様 山内 時春様

高橋 弓弦様 伊東 英子様

太田 充之様 垂水 正美様

吉本美恵子様 野村己知子様

山内 邦夫様 山内サダ子様

竹村 儲男様 高橋 和様

黒河 健二様 玉井サダ子様

今井 宏様 白坂 了様

今治・越智教育会 (一六名)

矢野 通成様 一色鬼勢雄様

長井小百合様 田窪 良啓様

渡部 正寛様 長橋 幸子様

千歳 滋様 渡邊以都甫様

越智 岸則様 渡部 悦郎様

重松 利一様 田中 嘉久様

澤田 國博様 菅 邦生様

越智 定志様 菅 禎男様

松山市教育会 (五〇名)

竹田 弘幸様 三好 桂子様

佐々木幹男様 橘 宏和様

須賀 重子様 遠藤 三男様

布袋 節子様 佐々木貞子様

村上庄次郎様 大河内町子様

久米 富夫様 土居美智子様

山本美恵子様 竹田 敏行様

増元 晶尚様 三好 郁子様 野首 和子様 戒能 申脩様

崎山 明子様 中村 哲三様 伊予教育会 (九名)

森 玲子様 山内 久江様 松嶋 正様 浅海 浩二様

大西 信也様 長尾 弘子様 佐川 俊明様 西村 康也様

城戸 眞敏様 仙波貴美子様 武田 弘様 皆川 亮一様

井門 民雄様 八木 義則様 乃万 勇三様 森 熊代様

高木 栄子様 渡部 英綱様 日野 勇様

宮内 育枝様 藤川 典子様 上浮穴教育会 (三名)

橘 智恵子様 相原 秋男様 三浦 哲生様 菊池 節子様

渡部 周作様 西川 祥子様 猪上 達勇様

中島 敬一様 高橋 綾子様 大洲市教育会 (七名)

大上千佳子様 今井 秀明様 山口 正泰様 佐藤美津子様

藤井田克美様 五十崎和子様 新穂美喜子様 上野 和文様

岡田 秀勝様 松本 正子様 竹内 昭子様 清水 千恵様

日野 良二様 二宮キヨミ様 富田 田鶴様 内子教育会 (二名)

山本 道國様 猪田喜代子様 久保 愛子様 榊田 忠章様

長井 恵三様 得居 千春様 八幡浜教育会 (三名)

白石 淳子様 玉井 妍子様 林 隆子様 浅野 芳子様

東温市教育会 (一〇名)

武智 道子様 露口 博臣様 松本 利夫様

岡 省吾様 高橋 久枝様 西宇和教育会 (二名)

井上 惇子様 山内志津江様 速水 正純様 阿部 康茂様

森 良輔様 松木 泰男様 西予教育会 (八名)

淡野 文子様 井上 貞正様

大本 登様 宮河 保助様

清水 潤子様 宇都宮喜英様

宮本 皋様 大野 徹雄様

宇和島教育会 (一〇名)

森井 順子様 住田 功様

日多 正州様 岡原 春様

上林 吉廣様 稲垣 健治様

高崎 聰様 伊東二三香様

稲垣 哲様 山下八重子様

南宇和教育会 (二名)

坂本利夫 湯浅 久子様

県外 (一名)

宮武 ミヨ様

文教俳句

一 俳句ポストより

休耕地泡立ち草の乱れ咲く
夏講習温泉の宿横に見て
天高し伊佐爾波神社長き磴
秋空に揺れる御幣や気もそぞろ
表年柿の突たわわ地につけり

西条市 高橋 和
西条市 浅野 真夕
岡山市 佐藤 恭子
松山市 和 虎
内子町 小野植元 幸



クリーニング 株式会社 清水屋

- 竹高 原工場 松山市竹原3丁目13-11 (〒790-0053) 電話(089)941-7388(代)
- 中井 井工場 松山市南高井1701 (〒791-1112) 電話(089)976-1511(代)
- 大洲 村工場 松山市中村1丁目3-52 (〒790-0964) 電話(089)941-8593
- 大洲 洲工場 大洲市徳森字小鳥越1254 (〒795-0061) 電話(0893)25-5971
- 今治 治工場 今治市山路456-1 (〒794-0072) 電話(0898)24-2455
- シ ン ワ 工 場 松山市南高井1701 (〒791-1112) 電話(089)976-6688
- 機 器 工 場 東温市吉久311-1 (〒791-0302) 電話(089)966-6866
- サ ー ビ ス 東温市田窪41-12 (〒791-0212) 電話(089)955-1570

東北ボランティア つながること・つづけること

愛媛県教育研究協議会伊予支部
森岡郁雄（伊予市立郡中小）

とにかく続けよう！

二〇一一年三月十一日の夕方、壮年部長から電話があった。 「森岡さん、行くよね…」

阪神淡路大震災の後、六甲アイランドの仮設住宅でもちつきをした仲間だった。とにかく行ってみようと思城山元町に向かったのは八月になってから。愛媛県からの支援事業として伊予地区からも養護教諭が派遣されていたのが山元町だった。すでにがれき撤去が進んではいたが、津波の爪痕は生々しく残っており、全国から大勢のボランティアが駆けつけていた。福祉センターでの指示に従って、民家の片付け、イチゴ農家の手伝いを行った。その活動報告後、支部として五年間は続けて夏と冬に東北支援を行うことが決まった。

二〇一四夏の活動

NPO法人「えひめ311」

の代表で福島県浪江町から双海町での避難生活を送られている渡部博志さんとのご縁で、今回は南相馬市の仮設住宅での活動から始まった。松山ICから約十七時間。阿武隈山地を越えて行くと、イネの代わりに雑草が生えた田んぼが見渡す限り広がっていた。街の中心部、道の駅の隣にある仮設住宅に着くと、スタッフと合流して早速そうめん流しの会場づくり。夕方五時にスタートしたそうめん流しには、住民の方たちが大勢来てくださった。「おいしい」と言ってくださるたくさんの方々の笑顔。しかし、その夜の懇親会では、難儀話をたくさん聞かせていただいた。家族で避難場所を十一回も転々としてここに住んでいるAさん。職

場だった福島第二原発から命からがら浪江にもどったが、家は津波に流され、そのまま避難生活へ。ご両親の遺体が見つかったのは五月。何もできなかった自分がつくづく悔しいとBさん。笑顔の下に我々には計り知れないそれぞれの悲しみがあつた。



津波被害を受けた請戸小学校

翌日は、一時帰宅を許された渡部さんに同行し、浪江町、双葉町、大熊町の現状を視察。かつてはサケ漁でにぎわっていた請戸港は津波で破壊され、周辺の田んぼであったところには打ち上げられた

漁船が放置されていた。閑散とした景色の中にぼつんと見える請戸小学校。当日は、児童全員が約二km先の山に走って逃げ無事だった。しかし、5km南には福島第一原発の排気塔が見える帰還困難区域。子どもたちのにぎやかな声がこの学舎に戻ることはない。視察後は震災後も絶えることなく千年以上の歴史をもつ相馬野馬追の会場へ。出口の見えない状況下でも、たくましく生きていこうとする人々の熱気に溢れていた。

最終日は、四年目の交流となる山元町の森教育長さんと面会。仮設住宅の地権者への土地の返還期限も迫っている中、人手不足による復興住宅の建設の遅れや依然として多い仮設住宅の入居者の支援が課題とのこと。それでも、山下中学校の校庭に響く生徒たちの元気な声や震災前より拡大した特産のイチゴハウスの見事な団地に希望の光を感じながら、宮城を後にした。

想いを届けること
今年で三度目となる年末のもちつき大会を十二月二十八

日に予定している。伊予地区の子どもたちが育てた米を届け、前回は旧山下駅の広場で開催した。震災後、バラバラになっていた地域の住民約四百名がふるさとへの地に集い、おもちを食べていただいた。前夜からずんだのあんこを用意してくださった仮設住宅のおばちゃんたちが、「来年も来てね」と我々を見送ってくださった。今年も、多くの会員と共に、愛媛の想いを東北に届けたい。



2013冬もちつき大会のスタッフ

ふるさとスケッチ

No.371

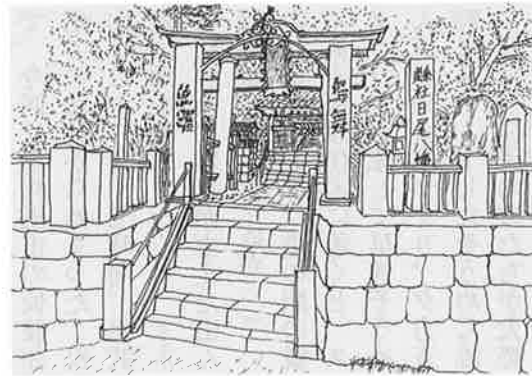
日尾八幡神社



松山市教育会 O B

山田 重明

この神社の前に立つと、正面の「鳥舞」「魚躍」の注連石と、朱塗りの木造の大鳥居が目につきます。注連石は三輪田米山の筆によるもので...



た、「日々好日宮の落葉に安らげり」と刻まれた句碑もあります。石段に息を切らせてお参りをすませると、鎮守の森から心の安らぎを感じることのできる神社です。

ご冥福をお祈りします

Table with 2 columns: Name and Age. Includes names like 楠田 一夫様 (88), 川端 繹様 (104), 野間 イシ様 (87), etc.

地区教育会会員数

平成26年7月30日現在

()内は平成25年8月2日の人数

Table showing membership numbers for various districts (e.g., 四国中央, 新居浜, 松山市) categorized by current, retired, and sponsored members.

※H26の退職会員数は特別会員の数を含んでいます。

学校生協

自動車保険大口団体割引のおすすめ

組合員は現在ご加入の自動車保険無事故割引額より、さらに10%割引になります。OBの方も継続してご加入できます。

提携保険会社 東京海上日動火災保険会社 三井住友海上火災保険会社 株式会社損保ジャパン

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会 電話 (089-925-0555) または 郡市学校生活協同組合

学校生協

サポート共済について

学校生協組合員に万一のこと(死亡や高度障害)が起きた場合、所定の保険金を年金形式でご遺族(高度障害の場合は組合員様ご本人)にお支払することにより、長期にわたりご自身やご家族の経済的な支えとなる保険制度です。

毎年10月に保険会社が学校を訪問し、ご案内いたします。

「サポート共済」の制度内容等についてはパンフレットを必ず確認して下さい。

お問い合わせは 愛媛県学校生活協同組合連合会 電話 (089-925-0555) または 郡市学校生活協同組合